



かわらばん



Contents

- 年頭所感①
- 西日本豪雨被災地へ ～おかやまJMATに参加②
- 院内リレーインタビュー③
- 老健だより、健康教室のご案内④

発行年月日／
2019年1月10日

発行人／理事長 難波 義夫
編集／金光病院広報委員会

〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田740
TEL(0865)42-3211(代)・FAX(0865)42-5801

e-mail konkou-hos@mx1.tiki.ne.jp
U R L http://konkohp.jp/

年頭所感

理事長・院長 難波 義夫

初春のお慶びを謹んで申し上げます。

本年は、天皇陛下の退位に伴い新しい元号の時代が始まります。平成はバブルがはじけて始まり、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、最近では北海道胆振東部地震など大きな地震に見舞われ、台風、大雨による水害、土砂崩れなどの災害が多く、また、政治・経済の面でも、政権もくるくる変わり、デフレ状態からなかなか抜けきれていないようです。現政権も、国会で議論されていることはスキャンダルなことが多く、今後の見通しに不安を抱かざるを得ません。

一方、病院にとっても先行き問題が多く、消費税、働き方改革、新専門医制度等解決すべき難題が山積しています。特に、働き方改革については、医療者の健康の担保、国民に良質な医療の提供ができるようなものにしなければなりません。それには、医療を提供する側だけで議論しても不十分で、医療を受ける側にも今までの意識を変えてもらう必要があると思います。

ますますの人口減少、少子化が進み、気候も温暖化等で昨年のような豪雨等による災害の発生の確率も高まりそうで、病院としての環境、役割が今後複雑化してきそうです。当院も、地域になくてはならない病院として、倉敷、岡山、福山の高次病院、また、周辺の介護施設、クリニックとの連携を密にして、自院の役割を果たして行きたいと思っています。



西日本豪雨被災地へ ～おかやまJMATに参加しました～

全国で大規模な災害が多発した今夏、「晴れの国」岡山県でも7月の豪雨で甚大な被害が発生し、金光病院から初めてJMATとして被災地医療支援活動に参加しました。

JMATとはJapan Medical Association Teamの略語で、日本医師会・都道府県医師会が被災地に派遣する医療チームです。避難所や救護所などで災害急性期以後の医療・健康管理にあたります。

金光病院チームは7月25日から3日間、倉敷市真備町の呉妹診療所に派遣されました。メンバーは医師1名、看護師2名と調整員として理学療法士2名でした。診療所は氾濫した小田川の近くにあり屋根まで浸水、建物は残ったものの医療機器や医薬品・カルテなどは全て失われました。プレハブの仮設診療所で診療を再開していましたが、復旧したのは電気のみ、水道なし、電話回線・パソコン・FAXもなく、通信手段は携帯電話だけという環境でした。薬が全部流されたというかかりつけの方、復旧作業中に怪我をした方、粉塵で目や喉を痛めた方、猛暑で皮膚炎や熱中症になる方など、様々な患者さんが来られました。猛烈な暑さの中、限られた薬と持ち込んだ体温計・血圧計などを使い「あるものでなんとかする」をモットーにメンバー一丸となり働きました。

支援活動調整本部ミーティングでの情報交換、支援物資集積拠点の公園で巡回診療・医療相談、診療所の看板を手作りしたり、必要な薬や物品を医師会へ要請するなど「できることは全部やる」がもう一つのモットーでした。被災地のニーズと提供される支援がかみあっていない、など課題も見えた3日間でした。

復旧復興は始まったばかりで、被災した方の様子を目の当たりにしてへこたれそうにもなりましたが、気心の知れたメンバーと活動できたことがとても力になりました。「対岸の火事」と思わず、各自ができる支援を息長く続けていくことが大切だと強く感じます。今回の派遣に関して当院職員からの応援と協力は心強く、あってほしくないことですが、もし再び機会があればまた活動に参加したいと思います。

内科部長 菊本陽子



Interview

院内ルー
インタビュー栄養科係長
羽原 美佐子**Q1.趣味は何ですか？**

ミュージカルを観ることです。バレエやダンスショーも観に行きますかね。今までに行った舞台のチケットとキャスト表、プログラムはすべて保管しています。

Q2.リフレッシュ方法は何ですか？

舞台を観ることと長風呂、おしゃべりをする事です。

Q3.学生時代の部活動は何をしていましたか？

吹奏楽部です。クラリネットを担当していました。

**Q4.学生時代のあだ名を教えてください。**

いろいろ呼ばれましたが、大学時代は「ルウ」と呼ばれていました。

Q5.大学時代の思い出を教えてください。

病院実習の課題がなかなか終わらず、夜の9時頃まで病院に残って友人と課題を終わらせたことです。栄養科のスタッフさんが全員帰られた後、真っ暗になった調理場の横の一室で課題を終わらせ、暗い廊下の公衆電話から友人と共に、大学の先生に実習最終日の報告をしたことを今でも覚えています。当然ですが、怒られました…。

Q6.栄養士を目指すことになったきっかけは何ですか？

資格を取りたい気持ちがあったことと、食事と病気に興味があったことがきっかけです。

**Q7.栄養士の仕事内容を教えてください。**

栄養価を計算して患者さんに適した献立を作成したり、病気に対して良くない食習慣があればそれについて指導を行ったりしています。また、生活環境が様々な中、どうすればバランスのとれた食事を摂りやすくなるかを考え、症状の改善に役立てるよう日々知恵を絞っています。

Q8.日頃から栄養面にこだわるなど、栄養士ならではの職業病はありますか？

職業病と言えるほどのこだわりはありませんが、強いて挙げるならノロウイルスに感染しないよう冬にできるだけカキ(貝)を食べないようにしたり、食中毒にならないよう生焼けのお肉は食べないようにしていることくらいでしょうか。

あと、子供に持たせるお弁当には冷凍食品は使わず、お弁当であれ野菜が少なくならないよう意識はしています。手作り弁当で頑張っているんですが、なかなか「おいしい」と言ってもらえません。変ですね…(笑)

**Q9.一番手間をかけた料理は何ですか？**

基本的に料理に手間をかけない主義ですが、強いて言うなら栗ご飯でしょうか。私にとっては栗の皮をむくのがとても面倒なのですが、食べたいという気持ちが強く、秋になると作ります。他の手間がかかる料理は義母や母が作ったものをおすそ分けしてもらって食べています(いつも助かっています)。このままだと子供への食育として、家の味を伝えられなくなってしまうので、いつか重い腰を上げて自分で作れるようにしなければ!と思っています。

やればできるはずなんです、きっと私にも。

**Q10.簡単に冬にぴったりの料理を教えてください。**

ありきたりですが鍋かしらいます。簡単だけでなく、野菜や肉、豆腐などバランス良く食べることができ、栄養をしっかりとれる料理ですよ。

Q11.好きな季節はいつですか？

秋です。空気が澄んでいて、私の好きな旬の食べ物がたくさん出回るからです。栗や梨、ぶどう、いちじく、松茸などが好きで、中でも梨は毎年世羅に買いに行く程です。

Q12.好きな芸能人は誰ですか？

昔から唐沢寿明が好きです。最近は高橋一生もいいなと思います。

Q13.最近ハマっていることはありますか？

ハマっていることではありませんが、気に入ったものを2個買い出すことがよくあります。色違いで買ったりもするんです。文房具や靴下、靴、お弁当箱などいろいろですが、一つは使って、それが壊れても同じものがあるという安心感が得られるからです。ついついそうしてしまいます。

**Q14.今後挑戦したいことはありますか？**

いつか、いつかですよ、富士山に登ってみたいと思っています。あとは、おせち料理を自分でも…です。

羽原係長、どうもありがとうございました。次回はケアリゾート金光の渡邊師長のインタビューです。聞いてみたいご質問があれば、ホームページの「ご意見・ご要望」からご連絡ください。

老健だより

ケアリゾート金光では、毎月誕生日会を行っています。皆さんで“ハッピーバースデー”を歌い、一緒にケーキを食べてお祝いをします。

誕生日の方には前に座っていただき、一言ずつ喜びの言葉を伺います。うれしさのあまり泣き出してしまう方や、もらい泣きをするスタッフ…今月もあたたかい誕生日会となりました。

介護福祉士 渡邊恵美



健康教室のご案内

当院では、医療スタッフによる健康教室を定期的に開催しています。

お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

詳細は院内の掲示板をご覧ください。
(参加費は無料です。)



金光病院の理念

地域の人々の「健康」と「命」を大切にします

金光病院の基本方針

1. 急性期から終末期まですべての領域において全人的医療を行います。
2. 患者様の自立を支援し、早期在宅復帰を目指します。
3. 謙虚な心、礼節を忘れず、責任を持って最善の努力をします。
4. 研修・研鑽に励み、質の高い医療・看護を提供します。
5. 地域の中核病院として、周辺医療機関、施設との連携を推進します。



日本医療機能評価機構
医療機能認定病院



編集 後記

流行り病の季節となりました。
手洗い・うがいをこまめに行い、予防に努めましょう。

